

社会的責任についての企業方針

ダッソーシステムズ(以下DS)のビジョンは革新的な製品の創造と製品ライフサイクル全体のエクスペリエンスを可能にすること、および、我々をとりまく環境に貢献することにあります。

エコデザインを通して、DSは製造業者が製品のデザインからその役割を終えるまでに社会や環境にもたらす影響を予測し、管理する手法を追求しています。このことを可能にしているのが製品ライフサイクル全体をリアルに表現する技術とシミュレーションする技術であり、結果的として原材料の使用の最適化、環境基準への準拠、エネルギー効率の向上を促しことが可能です。

DSはまた今日の情報通信技術のアクセスに伴う不平等性を軽減する手段として自社のソリューションを活用することも模索しています。DSは自社の3Dソリューションを活用しすべての年代・背景の人々の学習、創造、探求意欲を促す教育プログラムを支援しています。これはソフトウェアの無償供与やトレーニング、及び教育を目的としたコンテンツ提供を通じて行います。DSは未来の職業・仕事・ツールについて学習する機会をその教育パートナーに提供し、DSの従業員が時間・技術・創造性を地域社会と共有する試みも支援しています。

DSにおける健全なビジネスはコーポレートガバナンスに則って行われ、高い倫理基準に準拠した事業運営が確実に行われるよう、企業としてのコミットメントを表明したコード・オブ・ビジネスコンダクト（行動規範）の遵守を徹底しています。

DSのコミットメントは、当該各国の法律及び「世界人権宣言」、「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、「OECD多国籍企業行動指針」、国際連合の「児童権利に関する条約」などの人権に関する国際規約、環境保護の原則を重んじその認識に基づいています。

全世界での事業展開を持続可能なものとするために、DSは世界的に受け入れられた原則に基づく価値観を尊重した職場環境を追求します。かかる目的のため、DSは自らとそのサプライヤ及び取引先が下記の「社会的責任についての企業方針」に準拠することを求めます。

1) 社会的責任

DSは児童労働に関して以下のことを守ります。

- いかなる形態であれ、当該国の義務教育終了以前の児童および15歳未満の児童の就労をさせることなく、またこれを容認しません。

DSは強制労働に関して以下のことを守ります。

- いかなる形態であれ、強制あるいは債務労働、すなわち法の規制でいうところの不本意な労働・サービスを認めず、また行いません。

DSは健康と安全について以下のことを守ります。

- 法の定めに即し、安全で健全な就業環境を全従業員に対して提供します。

DSは結社の自由と団体交渉の権利について以下のことを守ります。

- 法の定めに即し、従業員が自らの選択により、自由に労働者組織に加入、労働者組織を結成する権利、代理をたてる権利、集団交渉の権利を尊重し認めます。
- 法の定めに即し、労働組合員またはその合法的代表者であることによる差別を、従業員に対して行いません。

DSは差別に関して以下のことを守ります。

- 法の定めに即し、人種、肌の色、国籍、宗教、障害、性別、組合員であることによる差別を、行使することなく、また容認しません。

DSは職場環境について以下のことを守ります。

- 法の定めに即し、全従業員が健康と個人の安全を守るための適切な職場環境、特に就業時間を享受できるようにします。

DSは報酬について以下のことを守ります。

- 全従業員に対し、法で定められた最低賃金をふまえ、かつ業務に応じたレベルの報酬の支払と法により義務付けられた福利厚生提供を遅延なく行います。

DSは贈賄・汚職に関して以下のことを守ります。

- ビジネスの獲得、維持のために非合法的な支払いの申し出、約束、供与または請願を行わず、また、非合法的な手段での政治団体または官僚に働き掛けることをしません。

DSは環境について以下のことを守ります。

- 環境リスク対策を始めとする環境保護に関する法規を遵守するとともに、
- 業務活動により環境に及ぼす影響を可能な限り軽減します。